

池田泉州ホールディングス 決算レポート

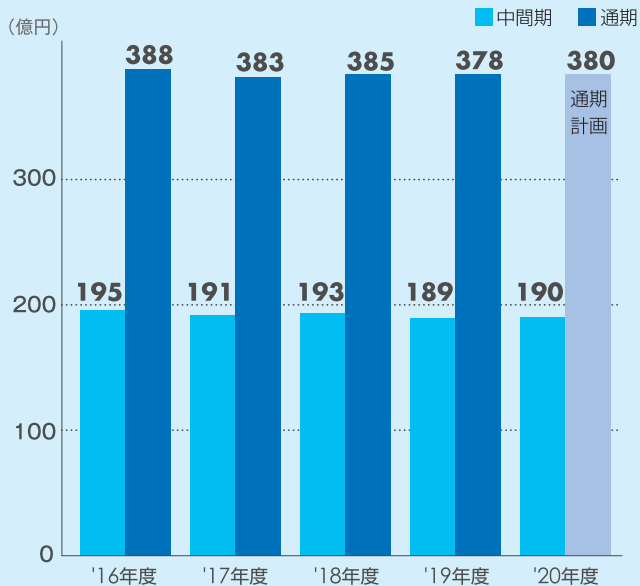
業績 *High Light* 第4次中期経営計画の進捗

2020年度 中間期の純利益は**44億円** (前年同期比+26億円)
 下期のコロナ影響が不透明であることから通期計画は40億円に据え置き

(各グラフに記載している通期計画は、5月に開示した計画を据え置き)

預貸金収支 預金と貸出金の利ざやから得られる

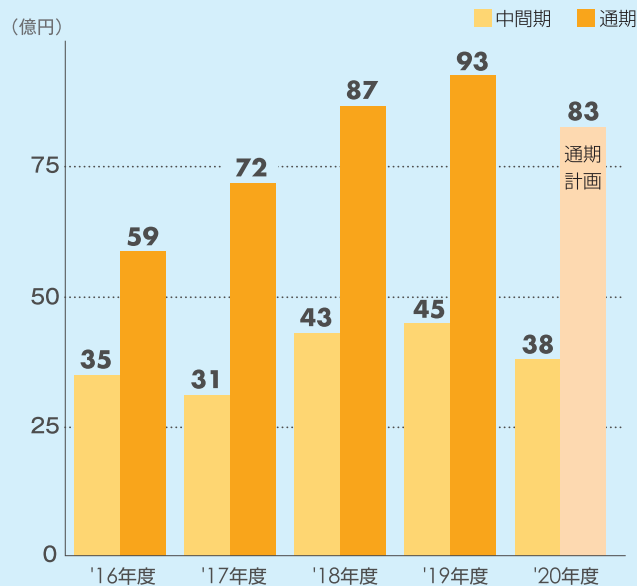
預貸金収支は、**190億円**
 (前年同期比+1億円)



- ・コロナ影響を受けた地元取引先の資金繰りの応援に注力、事業性貸出のボリュームが大きく増加
- ・預貸金収支は前年同期比+1億円

非金利収益 個人・法人の手数料を中心とした

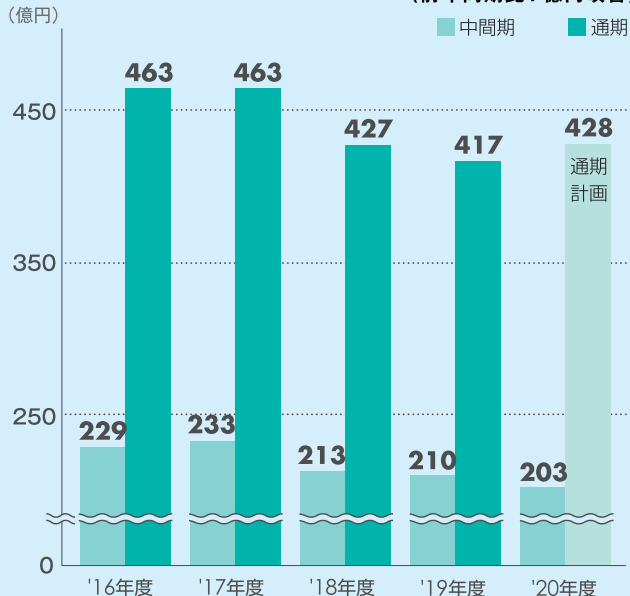
非金利収益は**38億円**
 (前年同期比▲7億円)



- ・緊急事態宣言下の営業自粛影響があったものの、5月解除以降は大きく持ち直しの動き
- ・前年同期比水準までの回復には至らず、38億円で着地

経費削減の進捗 人件費・物件費を引き続き抑制、

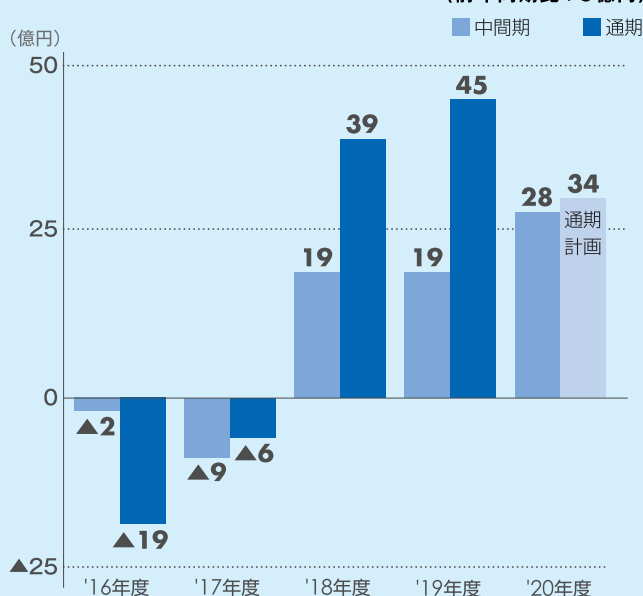
経費は、**203億円**
 (前年同期比7億円改善)



- ・2020年度も引き続き人件費・物件費を抑制する計画
- ・中間期の経費は物件費を中心に計画以上の削減が進み、203億円で着地 (前年同期比7億円改善)

本業利益*の状況 お客さまとの取引から得られる、

本業利益は、**28億円**
 (前年同期比+9億円)



- ・預貸金収支、経費の改善があり、非金利収益は減少するものの、中間期の本業利益は28億円で着地 (前年同期比+9億円)

* 貸出残高×預貸金利回り差+役員取引等利益-営業経費